

## 全国精神保健福祉会連合会平成30年度事業計画

### はじめに

今年度は、呉秀三が『精神病患者私宅監置の実況及び其ノ統計的觀察』刊行100周年の節目となります。昨年末に起きた寝屋川事件は現代版私宅監置ともいえる状況に置かれていました。今日、精神疾患の発症をしても適切な治療をもって回復する人は少なくない中で、なぜ保健、医療と福祉につながるができなかったのでしょうか。

昨年実施した『平成29年度家族支援に関する調査』では、入院に際し医療機関での隔離室の利用は7割、身拘束を3割が経験しているとされ、その隔離や身体拘束の説明がなかったと回答した人は3割でした。必要な治療行為であったとしても人権のはく奪状態における屈辱的な状況に対し、二度と同じ思いをしたくないと治療拒否が生まれても不思議ではありません。

また、調査では、重度かつ慢性に該当する可能性のある方々も、地域で生活をしていることが見えてきました。

精神障害を持っていても、安心して地域生活を送ることができるように、私たちは家族の立場から実情を伝えます。同時に、偏見や差別などの障壁に対しては、障害者権利条約の視点と国際的な視野での情報集約と発信や制度政策を含む行政への働きかけに努めていきます。

### 1 本事業計画の趣旨

- ・精神障害者と家族を国と社会が責任をもって支えるよう社会に働きかけるとともに情報発信をすすめる。
- ・精神保健医療福祉政策に家族支援の視点が入り始めた。当会の全国調査結果なども踏まえ、政策・施策の充実を求める。
- ・精神障がい者と家族の願い実現のために、差別・偏見、人権侵害を無くしていくための存在となる。

### 【平成30年度重点課題】

- ・賛助会員拡大強化(情報発信の強化)
- ・社会啓発・広報事業の充実(みんなねっと誌の刷新、SNS等の活用、教育推進)
- ・ブロック活動の強化(訪問と実態把握、大会・ブロック研修会等の見直しなど)
- ・多様な立場の家族との連携とつながる活動の発展
- ・交通運賃割引制度実現国会請願署名提出
- ・医療費助成制度実現の支援
- ・精神障害者障害年金の課題広報と要望
- ・全国実態調査  
(多様な家族の立場の状況、重度かつ慢性の状況にある方の地域生活)
- ・隔離、身体拘束についての改善活動

## 2 基本構想(ビジョン)

- 1)法人運営の安定した活動を維持するために
- 2)「家族本人の願い・思いを実現するとりくみ」～精神保健福祉の向上のために～
- 3)「社会啓発と広報活動の充実」～みんなねつとをメジャーにするために～

### 1)「法人運営の安定した活動を維持するために

- ①法人の持続運営に即した運営と経営の健全化
  - ・組織運営を裏付ける代表理事会を配置する
  - ・諸規定の整備・修正(事務局規程の発行、就業規則見直し)
  - ・こども、配偶者、兄弟など多様な立場の活動を補完する
- ②法人の政策・事業・財政戦略の業務執行を円滑に進める
  - ・代表理事会を設け、定期開催する
  - ・要求課題別のとりくみ推進(交通運賃、医療費助成など)
  - ・助成事業の自立した法人事業化
- ③各都道府県連合会活動の情報共有
  - ・各ブロック研修会議など(都道府県連合会)への参加と実情の把握

### 2)「家族本人の願い・思いの実現に向けたとりくみ

- ①課題別要求のとりくみ
  - ・障害者政策への要望反映
  - ・関係当局開催の会議・審議会への参加協力及び情報発信と集約
  - ・精神障害者への公共交通運賃の割引制度の実現(請願署名、事業者申入など)
  - ・精神障害者にも重度障害者医療費助成制度を適用する
  - ・生活できる年金のありかたを求める
  - ・今後の精神保健医療のあり方を検討する
- ②調査事業
  - ・精神障がい者の社会参加をすすめるための実態調査
  - ・2017 年度実施調査報告書の活用
- ③ピアサポート事業(相談支援事業から家族会活動の育成強化へ)
  - ・地域家族会による学習会の実施：【日本財団助成】
  - ・ピアサポーターの養成：【日本財団助成】
    - こどもの立場の家族学習会を含む
  - ・家族学習会のアドバイザー、担当者の養成：【JKA 補助事業】
  - ・必要に応じ各立場のグループ活動の展開
    - 子どもの立場(こどもびあ)の会運営補助
    - 配偶者・パートナーの集いの共催と発展

#### ④研修事業

- ・みんなねっとフォーラム：【日本財団助成】
- ・ブロック研修会

### 3) みんなねっとを通じた社会啓発と広報活動の充実

#### ①広報啓発活動

- ・月刊みんなねっと誌の広報誌としての拡大
- ・メルマガ・SNS (social networking service) などによる重層的な広報・広告の発信
- ・ブックレットの発行(みんなねっと連載などから)
- ・国をあげての心のバリアフリー教育に連動した啓発活動の推進

#### ②他団体等との連携

- ・マスコミを含めたあらゆる媒体を活用し、当会の事業に則した取り組みとの連携
- ・日本障害者フォーラム(JDF)をはじめ、就労も含めた関係諸団体との連携
- ・ベルギー視察後の国際的な精神保健福祉医療からも学び、日本オリジナルの政策提言に関与していく

### 3 組織と事業内容

#### 1) 機関組織

- ① 総 会 定例年1回(6月1日)
- ② 理 事 会 定例年3回(6月,11月,3月)
- ③ 代表理事会 定例年6回(偶数月第1水曜日開催)  
\*事務局職員会議 月一回

#### 2) 各委員会等

委員会名等	構成員(いずれも2017年度実績)
JR など交通運賃割引 推進プロジェクトチーム	座長：奥田和男、プロジェクト事務局長：堀場洋二 近畿ブロック役員
政策委員会	委員長：本條義和、事務担当者：野村忠良 木全義治、松澤勝、堤年春、青木聖久、羽藤邦利、池原毅 和、白石弘巳、長谷川利夫、寺谷隆子、小幡恭弘
月刊みんなねっと編集委員会	委員長：野村忠良、谷安正、飯塚壽美、 みんなねっと事務局員

家族学習会企画 プロジェクト委員会	委員長：岡田久実子、飯塚壽美、佐藤美樹子、川辺慶子、 貫井信夫、守屋栄二、米倉令二、綾部小百合、天川智子、蔭 山正子、横山恵子、大島巖、桶谷肇、平間安喜子、柏木彰、 倉沢政江、二宮史織、野村忠良、小幡恭弘、松本まゆみ 協力委員：小林清香、中村由嘉子、伊藤順一郎、高森信子
みんなねっとフォーラム プロジェクトチーム	伊藤千尋、大塚淳子、金川洋輔、岡田久実子、野村忠良、山 本哲史
調査委員会	白石弘已、半澤直子、前田直、伊澤雄一、杉本豊和、 協力委員：蔭山正子、横山恵子、長谷川利夫、

### 3) 行政当局・公共団体等の役割受任

当会の目的を達成するためにも、行政当局への意見表明をはじめ政策提言などを行い、関係機関・団体への協力を推進する(下記は現行受任しているものを示す)

- ① 内閣府障害者政策委員会
- ② 厚生労働省社会保障審議会(障害者部会)
- ③ 厚生労働省今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会
- ④ 厚生労働省労働政策審議会障害者雇用分科会
- ⑤ 移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準等検討委員会
- ⑥ 地域福祉権利擁護に関する検討委員会(全国社会福祉協議会地域福祉部)
- ⑦ 関東管内バリアフリーネットワーク会議
- ⑧ 高齢障害者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会
- ⑨ 内閣官房心のバリアフリーを通じてコミュニケーションを促進するEラーニング WT
- ⑩ 国土交通省バリアフリー整備ガイドライン改定検討委員会
- ⑪ 全国障害者技能競技大会(アビリンピック)競技委員会
- ⑫ ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議
- ⑬ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構評議員
- ⑭ 独立行政法人労働政策研究・研修機構労働大学校障害者雇用専門研修(前期)講師  
(①飯塚理事,②～⑤本條理事長,⑥木全副理事長,⑦野村理事,⑧～⑫小幡,⑬⑭堤理事)
- ⑮ 日本障害者フォーラム(JDF):代表者会(本條理事長)、監査(松澤副理事長)、  
幹事会・条約推進委員会(小幡事務局長)
- ⑯ 国家公務員心のバリアフリー研修(H29/9/7、12/5.6)埼玉県連役員

4) 法人事業(当会定款に定める事業) \* 各取り組みは複数の事業も便宜的に区分している

- ⑩ 精神保健福祉の向上に資するための社会啓発・広報事業
  - ・月刊みんなねっと、メルマガ発行など
  - ・教育カリキュラム化への働きかけ
- ⑪ 精神障がい者とその家族に対する相談支援事業
  - ・電話相談事業 毎週水曜日 10～15 時
  - ・家族ピアサポーター(相談員)養成【日本財団助成】
  - ・精神障がい者家族間の支援者養成(担当者・アドバイザー)【JKA 補助】
  - ・家族学習セミナー【JKA 補助】
- ⑫ 精神障がい者の社会参加を推進するための調査・研究事業
  - ・交通運賃割引制度のとりくみ
  - ・全国実態調査【日本財団助成】
- ⑬ 家族会活動の育成強化及び当事者活動の支援を図る事業
  - ・ブロック研修会(主催各都道府県連合会 共催全国精神保健福祉会連合会)
    - i 北海道・東北、ii 北信越、iii 関東、iv 甲州・東海、v 近畿(兼全国大会)、
    - vi 四国、vii 九州・沖縄、viii 中国
  - ・家族学習会【日本財団助成】
- ⑭ 関係機関・団体との連絡調整に関する事業
  - ・行政当局・公共団体等の役割受任(P4 参照)
  - ・みんなねっとフォーラム【日本財団助成】
- 21 その他、当法人の目的を達成するために必要な事業
  - ・要求実現に向けたとりくみ(P2参照)
  - ・全国大会「第 11 回全国精神保健福祉家族大会(兵庫)」(兼ブロック研修会)

組織図

